

## 実績報告書

2006 年 11 月 27 日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人 野外活動教育振興会  
代表者名 高橋保之  
所在地 市川市新田 1-4-14-302  
電話 047 (326) 3072

平成 18 年 7 月 4 日付け 市川 第 20060630-0174 号をもって交付決定のあった市川市市民活動団体支援金に係わる実績報告について、市川市納税者が選択する市民活動団体への支援に関する条例第 15 条第 1 項の規定により、提出します。

### 記

1. 事業費総額 635,077 円
2. 交付決定額 47,901 円
3. 添付書類
  - (1) 支援決定事業収支決算書 (様式第 12 号)
  - (2) その他市長が必要と認める書類

以上



[事業報告書]

<p>事業の名称</p>	<p>キャンプ指導者育成事業</p>
<p>実施時期 実施場所等</p>	<p>◆野外活動指導者を育成するため、会の趣旨説明、研修システム理解。キャンプスキル実地体験する研修会を開催 5月20日(土)～21日(日)市川少年自然の家 ◆運営を体験する研修会を開催 6月3日(土)～4日(日)市川市民キャンプ場 ◆キャンプ運営のバックヤード実体験の研修会を開催 7月15日(土)～16日(日)市川市民キャンプ場 ◆キャンプ場準備体験 7月15日(土)～16日(日)群馬県吾妻郡六合村「奥草津休暇村」 ◆主催キャンプの運営、実施の実体験 8月5日(土)～8日(火)群馬県吾妻郡六合村「奥草津休暇村」 ◆主催キャンプの運営、実施の実体験 8月11日(金)～14日(月)群馬県吾妻郡六合村「奥草津休暇村」 ◆NPO法人ユニバーサルイベント協会主催「ユニバーサルキャンプin八丈島」運営参加 8月31日(木)～9月5日(火)東京都八丈島八丈町三根「底土キャンプ場」 ◆主催キャンプに参加した子どもたち、親などとの接点作り 10月29日(日)市川大洲防災公園</p>
<p>事業結果 (成果・課題等)</p>	<p>ホームページ、当会登録スタッフの友人などのルートで本年度の新規登録スタッフを募集し、5月14日(日)に東京都江戸川区区内施設で「2006年度事業説明会」を開催。大学生を中心に11名が参加。当会の活動趣旨、活動内容、期待するスキルなどの説明を行い、6名が登録スタッフとなった。 当会は大きく分けて次の3分野のスタッフ育成を目指している。 ① カウンセリングスタッフ:主にキャンプなどの活動期間中、参加者と生活を共にし、生活面のアドバイス、キャンプの最低限のスキルの指導を行う。 ② プログラムスタッフ:主にキャンプ期間中実施する各種プログラム(例えば自然観察、天体観望、カヌー、薬草観察など)運営に際し、講師の先生方のサポートを行い、あわせて講師の先生方からその指導内容を習得し、参加者に対して自らが指導できるスキルを身につける。 ③ マネージメントスタッフ:主にキャンプ運営上の裏方作業に従事し、参加者、講師、スタッフが円滑にキャンプ生活を送れる様、物資調達、インフラ整備、食事準備などを行う。そのためのスキルを身につける。 以上のスキルを自分の得意な分野を中心に習得してもらうため、市川少年自然の家、市川市民キャンプ場などでスキル向上トレーニングキャンプを実施。 その結果、上記三分野のスタッフとして、群馬県吾妻郡六合村での当会主催事業である「2006efa キャンプ」にそれぞれ参加し、実際に参加者、外部講師の方々とキャンプ生活を送り、習得したキャンプスキルを応用して参加者に3泊4日の自然体験を経験してもらった。また、②のマネージメントスタッフ希望者には、本番キャンプ前の7月15日～16日、事前に現地キャンプ場へ赴き、水場の確保、本部テント設営、水遊び場設営、カヌー場整備などを体験してもらった。 カウンセリングスタッフには、主催事業のキャンプには往きのバス車中から、参加者と行動をともにしてもらい、参加者の興味関心を引き出すことも体験してもらった。 今年も、昨年に引き続き「夏休み体験ボランティア」活動を通じ、千葉県内の高校生2名が参加、スタッフの一員として上記キャンプを体験してもらいました。 本年は、上記主催事業の他に昨年より開催されているNPO法人ユニバーサルイベント協会主催「第2回ユニバーサルキャンプin八丈島」の運営スタッフとして、主にマネージメント分野で当会に協力要請があり、希望者9名が同キャンプに参加し、8月31日～9月5日で会</p>

	<p>期中はもちろん、準備、撤収を含めキャンプ運営を体験し、参加者総数約 300 名(現地参加の島民の方も含む)のキャンプ運営に携わった。</p>
<p>目的・効果</p>	<p>会の活動指針である「感性」「好奇心」「創造性」「自主性」「協調性」の醸成や「自己発見」の機会を野外活動という非日常生活の中で体験し育んでいく。と言う観点において、主催キャンプの参加者である小中学生が、自然の中で新たな興味を感じてもらえたと考えております。</p> <p>このキャンプに関わった参加者、スタッフ自身が多くのことを学び、できるようになることの楽しさに気づいてもらい、その喜びを感じてもらいたいと考えております。</p> <p>『第 2 回ユニバーサルキャンプ in 八丈島』においても「ダイバーシティ(diversity＝多様性の認識)」の考え方に立ち、年齢や障がいの有無にかかわらず、参加者へ、そして社会全体へ向けて、「みんなが一緒に暮らせる社会」が身近なものであるということが体験できた。</p> <p>通常のキャンプでは体験出来ないスキルを本キャンプ参加者は身につけるきっかけが出来たと考えます。</p>

## 支 援 決 定 事 業 収 支 決 算 書

事業の名称： キャンプ指導者育成事業

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
会費	150,500 円	43 名×3,500 円
助金収入	47,901 円	市川市市民活動団体支援金
自己資金	436,676 円	
合 計	635,077 円	

2. 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
教材制作費	81,050 円	キャンプ手帳、キャンプガイドなど制作費
講師謝金	272,222 円	学識経験者、森林インストラクター、カヌーインストラクター、看護師など8名各2回
資材購入費	130,725 円	燃料、ロープ、文房具類
通信費	4,500 円	参加者・講師への資料送付郵便代
レンタル費	146,580 円	テントレンタル代
合 計	635,077 円	

※領収書を添付してください。

原本領収書確認済(06年12月5日) 